

(様式)

令和6年度「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

令和6年12月2日

学校名	小浜市立西津小学校	校長名	梶川 和則
-----	-----------	-----	-------

1. 推薦理由

本校は、スクールプランの重点目標の1つに「ふるさと大好きっ子」を掲げ、「ふるさと小浜・西津をさらに好きになる子」と「ひと・もの・ことと関わりながら、今より深くふるさとについて考えることができる子」の育成に全校で取組を進めている。具体的には、子供たちの思考の流れや探究サイクルを意識したストーリー性のある年間計画を立案し、地域の方々と共に取組むことを強く意識した探究活動を進めている。一連の活動を通して、今まで以上にふるさと西津に誇りと愛着を持ち、ふるさとを大切に思う気持ちが高まるとともに、子どもたち自身が地域の一員であるという自覚を持つなど成長が実感できる活動となっている。以上のことから、本賞に本校の取組を推薦したい。

2. 活動内容 テーマ「地域の笑顔は私たちの笑顔」(6年生の取組から)

5年時の取組の振り返りから、今年度は「地域の笑顔は私たちの笑顔」のテーマの下、地域の魅力を伝えていくことが地域全体を幸せにすることにつながるのではないかと考えた。そこで、数ある西津の魅力の中から「伝統」「地蔵」「海」の3つに絞って取り組んでいくこととなり、その上で「環境」「観光」「特産品」の3グループに分かれて活動を進めていった。

「環境」グループは、海に関わる仕事の人や海を見に来た人に幸せになってほしいという思いから、地区内にある海岸のゴミ拾いイベントを企画した。すると、この企画に同じテーマで探究を進めている中学校・高校のグループ、大学のボランティアの人が協力してくださることになり、当日は保護者や地域の方を含め多数の参加者でイベントを行うことができた。

「観光」グループは、観光に来た人が幸せになってほしいという思いから、西津地区の魅力がぎっしり詰まったパンフレット作りを行った。実際に現場で取材をするなど五感を通して調査したことをしっかりまとめることができ、西津の魅力を紹介できるバイブルが完成した。

「特産品」グループは、西津の特産品を開発しようということになった。そこで、地元の和菓子店の方の協力の下、西津の魅力の1つである「お地蔵さん」が刻印されたどら焼きを商品化することになった。しかし、活動には費用が必要である。そこで、地域の皆さんに活動の趣旨を説明することで活動への協力を募った。その結果、目標額に達し、活動を円滑に進めていくことができた。商品化された「お地蔵さんどら焼き」は地域の行事等で販売しすべて完売することができた。また、伝統的産業である「若狭塗り箸」に関しては全員で学びを深めた。修学旅行時には、大阪京橋商店街の皆さんのお力添えもあり、お地蔵さんどら焼きや若狭塗り箸をはじめ、小浜の特産品の販売活動を行い大盛況であった。

この取り組みを、「ふるさと福井の魅力 プレゼンテーション大会」に応募したところ、12月の本選に出場することができた。この機会に県内の皆さんにも西津の魅力を知っていただければと思っている。また、2月に開催する「学習発表会」では、保護者の方や地域の皆さんにも活動について紹介していく。

3. 年間活動実績 (12月以降の予定を含む)

- 4月 今年度のふるさと学習の計画
- 7月 イベント協力金活動の実施 (2回)
ゴミひろいイベントの実施 (小浜市西津 川西海岸にて)
「お地蔵さんどら焼き」販売活動① (上記イベント会場にて)
- 9月 「お地蔵さんどら焼き」販売活動② (地域行事「お地蔵さんぽ」会場にて)
- 11月 「お地蔵さんどら焼き」をはじめ、ふるさと小浜の特産品販売活動③
(修学旅行 大阪京橋商店街にて)
- 12月 「ふるさと福井の魅力 プレゼンテーション大会」本選出場
- 2月 学習発表会 (地域の方々を招いて)

4. 提出書類リスト

学びの様子がわかる写真、新聞記事、発信したパンフレット、地域の広報誌